

2020年 8月 11日

仙台市長 郡 和子 様

新型コロナウイルス感染症対策に関わる緊急要望（4）

日本共産党仙台市議団 団長 嵯峨サダ子

国内での新型コロナウイルス感染者数が連日最多を更新する中、本市においても、この間、2件のクラスター発生を含めて、学校や高齢者施設などでの感染が確認されています。感染者が確認された際には、積極的なPCR検査をおこなうなど、クラスター発生時の抑え込みと感染拡大防止に懸命に尽力されていることに、改めて敬意を表します。

8日からの連休を含め、これから本格的な夏休み、お盆期間を迎えるにあたり、感染震源地から全国への感染拡大が危惧されます。東京で起きている事態が、数週間後には本市内でも起きうることを念頭に置いて対策を講じること、市民の命と健康をまもるために検査体制のさらなる強化を求めて、以下、緊急に要望致します。

- 1、 防疫目的でのPCR検査を大規模に実施し、無症状者を含めて「感染力」のある人を見つけ出し、早期に隔離・保護をおこなって、爆発的な感染拡大を抑止する取り組みを抜本的に強化するよう国に要請すること。
- 2、 高齢者施設での感染確認が相次いでいることをふまえ、高齢者・障害者施設や医療機関、保育所や幼稚園、学校など、集団感染によるリスクの高い施設に勤務する職員や出入り業者への定期的なPCR等の検査を、民間の協力も得ながら実施すること。その際の費用負担については、個人負担とならないよう国に財政措置を求めること。
- 3、 東京都世田谷区では、上記のような社会継続のために必要で、多くの人と接触せざるを得ない方々の定期検査の実施を決め、さらに「いつでも、だれでも、何度でも」受けることが出来る検査体制をめざすとしている。本市においてもそうした方向をめざし、検討をすすめること。
- 4、 夏休み期間を経て感染者が拡大した場合や、大規模におこなう検査によって明らかとなった陽性者を一刻も早く隔離、保護、治療できる体制を、県や医師会とも連携しながら構築しておくこと。

以上